

産業廃棄物処理計画書

平成28年 6月13日

和歌山県知事 殿



提出者 富士エンジニアリング株式会社
 住所 和歌山県海南市藤白758
 氏名 保全部長 林 尚平
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 073(483)6284

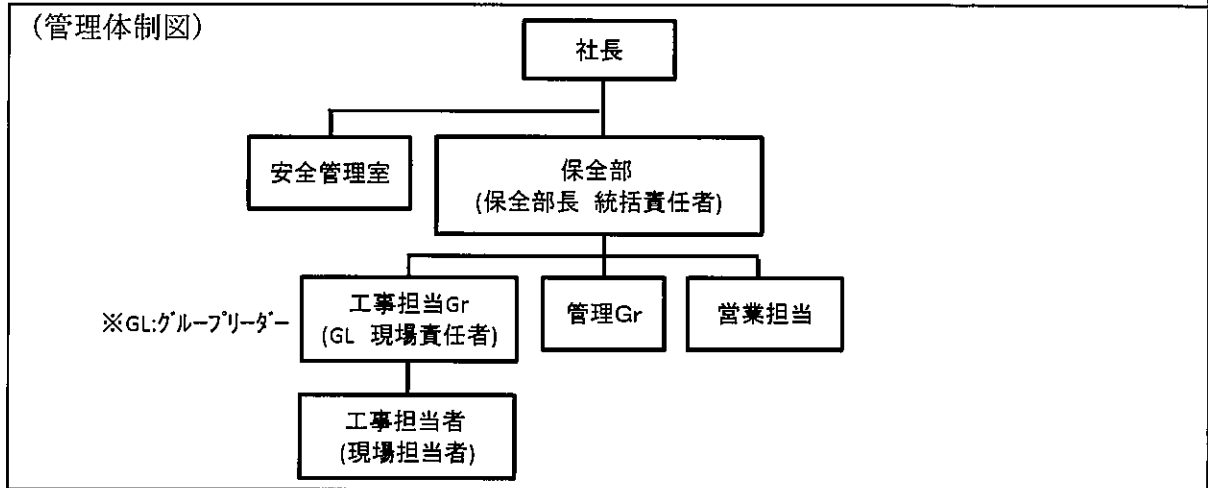
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	富士エンジニアリング株式会社
事業場の所在地	和歌山県海南市藤白758
計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 3,517百万円
③従業員数	37人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph TD A[建設工事] --> B[分別] B --> C[建設混合廃棄物] B --> D[がれき類 (アスファルト・コンクリート破片)] B --> E[がれき類(コンクリート破片)] C --> F[保管] D --> G[保管] E --> H[保管] F --> I[最終処分] G --> J[再生処理] H --> K[再生処理] </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (27年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙」のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 受注によって左右されるが、過去数年間の傾向や前年度の受注高をもとに推測する等により、産業廃棄物の種類毎の排出量を予測する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙」のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) これまでに実施した取り組みを継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、がれき類(ガラス・陶器くず)、がれき類(アスファルト・コンクリート破片)、 がれき類(コンクリート破片)、建設混合廃棄物、石綿含有廃棄物別に分別する。 建設混合廃棄物の発生は分別解体等により抑制すると共に、混合状態で排出されのものについては、適正に分別する事で可能な限り削減する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまでに実施した取り組みを継続し、適正に廃棄物の取り扱いを行う。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙」のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら直接再利用は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙」のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら直接再利用は行わない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙」のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行わない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙」のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理は行わない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙」のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	「別紙」のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
	【前年度（ 27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙」のとおり	
①現状	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 処理業者の処理状況、維持管理状況等を調査した上で、処理業者との委託契約を締結する。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙」のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>これまでに実施した取り組みを継続すると共に、優良産業廃棄物処理業者に関する情報、公開される産業廃棄物処理施設の維持管理情報等を活用する。</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙: 1

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

責任者及び管理組織図

統括責任者	富士エンジニアリング株式会社 代表取締役社長	
現場責任者	富士エンジニアリング株式会社 保全部 保全部長	
現場担当者	富士エンジニアリング株式会社 保全部 工事担当Gr	
産業廃棄物 処理責任者		
廃棄物処理施設 技術管理者		
役割	統括責任者	①委託契約書の締結 ②処理業者の現地確認(処理状況、維持管理状況、周辺状況) ③再生利用の推進の為、委託先の情報収集、ルート確保
	現場責任者	①産業廃棄物の取扱手順等の策定 ②従業員及び下請業者等への教育、啓発等 ③帳簿の作成 ④廃棄物処理法及び関係法令を遵守した作業の推進
	現場担当者	①マニフェストの交付 ②分別解体、産業廃棄物の分別、保管業務
管理組織図		
<pre>graph TD; A[代表取締役社長] --- B[安全管理室]; A --- C[保全部]; C --- D[管理Gr]; C --- E[営業担当]; C --- F[工事担当Gr];</pre>		